

温室効果ガス安定化シナリオと気温上昇

区分	温室効果ガス安定化濃度(CO2換算ppm)	CO2排出のピーク	2050年のCO2排出量(2000年比、%)	産業革命前からの気温上昇(°C)
I	445-490	2000-2015	-85 to -50	2.0 – 2.4
II	490-535	2000-2020	-60 to -30	2.4 – 2.8
III	535-590	2010-2030	-30 to +5	2.8 – 3.2
IV	590-710	2020-2060	+10 to +60	3.2 – 4.0
V	710-855	2050-2080	+25 to +85	4.0 – 4.9
VI	855-1130	2060-2090	+90 to +140	4.9 – 6.1

IPCC第4次評価報告書の複数の排出パス

シナリオ カテゴリー	地域	2020	2050
A-450ppm (CO ₂ 換算)	先進国 (附属書 I 国)	90年比 ▲25%~▲40%	90年比 ▲80%~▲95%
	途上国 (非附属書 I 国)	ラテンアメリカ、中東、東アジア 及びアジアの中央計画経済国に おけるベースラインからの相当 の乖離	すべての地域におけるベースライン からの相当の乖離
B-550ppm (CO ₂ 換算)	先進国 (附属書 I 国)	90年比 ▲10%~▲30%	90年比 ▲40%~▲90%
	途上国 (非附属書 I 国)	ラテンアメリカ、中東及び東アジア におけるベースラインからの 乖離	ほとんどの地域、特にラテンアメリカ 及び中東におけるベースラインから の乖離
C-650ppm (CO ₂ 換算)	先進国 (附属書 I 国)	90年比 0%~▲25%	90年比 ▲30%~▲80%
	途上国 (非附属書 I 国)	ベースライン	ラテンアメリカ、中東及び東アジアに おけるベースラインからの乖離